

鎌ヶ谷市 郷土資料館 だより 第63号

目次

- 第27回ミニ展示を開催 1
- 令和5年度の事業予定 2
- 縄文人の生活ウォッチングを開催 3
- 郷土資料館この一品⑳ 3
- 史料整理の現場から㉑ 4

第27回ミニ展示・7/15～10/1

災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ヶ谷

～教訓を忘れないために～

近年、大きな自然災害が相次いでいます。また、ようやく終息しつつありますが、新型コロナウイルス感染症の流行も記憶に新しいところです。歴史をさかのぼってみると、私たちは過去にこのような災害や流行病を何度も体験しています。その時に、当時の人たちがどのように対応したのかという教訓を学ぶことは、近い将来これらの襲来に対処する上でも大変重要と思われれます。

このミニ展示では、近世から近・現代にかけて鎌ヶ谷市域に関わった災害と流行病についての歴史資料と伝承された民俗資料を展示します。

なお、本年は関東大震災から100年目に当たりますので、その周年行事も兼ねたものとします。

展示内容

I 流行病

- (1) 流行病の記録
- (2) 病の克服
 - ①種痘、②避病所から病院へ、③薬の服用、④神仏への祈願
- (3) 新型コロナウイルス感染症の記憶

II 災害

- (1) 関東大震災



佐津間のアンバ様で行われる辻切り

(2) 風水害

(3) 火災

展示期間 7月15日(土)～10月1日(日)。

ただし、毎週月曜日と7月18日(火)、8月11日(金)、22日(火)～24日(木)、9月19日(火)、23日(土)は休館

開館時間 午前9時～午後5時

会場 郷土資料館2階展示室ほか

ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説を予定しています。詳しくは広報7月15日号をご覧ください

郷土資料館 令和5年度の事業予定

今年度、郷土資料館で予定している各事業を紹介します。なお、各事業の内容・開催日等は予定であり、変更になる場合もあります。詳細は、その都度「広報かまがや」や市ホームページなどでお知らせします。

◇ 教室・講座

①郷土資料館セミナー

「人と自然」をメインテーマに、外部講師を招き数回シリーズで開催予定です。詳細については調整中です。

期間 12月～令和6年1月（予定）

②歴史講演会Ⅰ「陸軍藤ヶ谷飛行場の遺構（仮題）」

市域北部に第2次世界大戦末期に建設された陸軍飛行場の戦跡について、講師に語っていただく予定です。

開催日等 調整中

③歴史講演会Ⅱ「関東大震災（仮題）」

ちょうど100年前の1923年に起こった未曾有の大災害である関東大震災について人々がどのように対応したのかを、講師に語っていただきます。

開催日等 調整中

④自然観察会

自然がよく残っている市域の地区を訪ね、季節の植物や野鳥などに親しみながら楽しく学びます。

時期 令和6年春頃（予定）

◇ 展 示

①第27回ミニ展示「災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ヶ谷～教訓を忘れないために～」

今号1ページをご覧ください。

期間 7月15日(土)～10月1日(日)

②新資料展示「新発見！鎌ヶ谷のたからもの」

令和4年度の調査によって確認・発見した埋蔵文化財や、歴史・民俗資料を紹介します。

期間 10月～2月（予定）



前回の春の自然観察会にて

③令和5年度企画展「鎌ヶ谷の小学校150年史（仮題）」

市域に小学校が設置されて150周年にあたることから、主に明治・大正・昭和の小学校の変遷や教育の内容について展示をします。

期間 令和6年3月～5月（予定）

◇ 夏休み子ども企画

①まが玉作り

大昔の人が身に着けていたアクセサリ「まが玉」を作ります。苦労して作ったまが玉は、世界でひとつの自分だけの宝もの。まが玉作りを体験することで、当時の生活に対する理解を深めてみませんか。

開催日等 調整中

②あんぎんコースター作り

今ではお金を払えば簡単に手に入る布ですが、大昔の人は苦労しながらすべて手で編んでいました。この教室では、大昔の編み方「あんぎん編み」でコースターを作成します。あんぎん編みをとおして、当時の生活に思いをめぐらせてみませんか。

開催日等 調整中

縄文人の生活ウォッチング

—大昔の暮らしを体験しよう—

大昔、この地で生きた縄文人はどのような生活をしていたのでしょうか？この講座では、火おこしを体験することができるほか、本物の土器にふれることもできます。お友だちを誘って参加してね！

内容 ①縄文土器にふれる ②火おこし体験

対象 小学校4～6年生(保護者の付き添い可。
対象学年以外は応相談)

日時 7月1日(土)、1回目＝午前10時～正午
2回目＝午後1時30分～3時30分

場所 市立図書館3階集会室



さあ君も火おこしに挑戦！

定員 各回15名(6月15日から受付・応募者多数の場合は抽選)

保険代 50円(当日持参)

服装 動きやすく、汚れてもよい服装で

申し込み 郷土資料館 ☎ 445-1030

郷土資料館この一品②

墨書土器(ぼくしよどき)

「墨書」というとおり墨で主に文字が書かれた土器です。文字が書かれていることから、文字が使われ始めて以降の遺物です。

奈良・平安時代以降の「土師器」という素焼の土器や、「須恵器」という釉薬のかかった土器の底部や側面に文字が描かれています。文字は1字のものが多いのですが、地名、人名のようなものや、時には絵が描かれていることもあり、当時の様子を解明する手がかり



墨書土器片(双賀辺田 No1遺跡出土)

ともなります。当時、主に文字を取扱ったと思われる官衙(役所のようなもの)や寺院跡に多く出土しますが、集落の住居跡からも出土することがあります。文字は用途や所有を示すものであったと推定され、展示室内に復元されている住居跡が見つまっている双賀辺田No.1遺跡(中沢)からは88点の墨書土器が見つっています。文字は「子中尾」や「本」という字が多く、遺構も住居跡のほか掘立て柱建物の柱跡も多数発見されていることから、この地域の他の遺跡とは異なる役所のような場所であったとも推定しています。また、この遺跡からそれほど離れていない大堀込遺跡からも墨書土器が見つっています。ここでは「x」のような文字が多数見られます。

この時代は字がわかるのは一部の人のみで、墨書の中には意味を解せず見様見まねで書いたようなものもあります。「本」という文字は「大」と「十」の組合せのように書いてあり、他にも記号と思われるものの中には、もしかしたら、字を書いたつもりのものもあったかもしれません。文字を書くこととその意味が分かっていたかは別のようです。

【史料整理の現場から⑫】

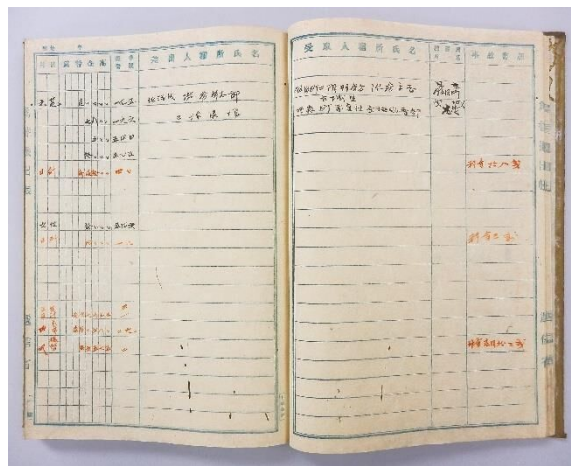
明治30年代の 鎌ヶ谷郵便局の帳簿から

明治4年(1871)に施行された近代的な郵便制度の普及のため、政府は地域の有力者に土地や建物を提供してもらい代わりに、「郵便取扱役」に任命して業務を請け負わせるかたちで、全国各地に「郵便取扱所」(後に「郵便局」と改称)を設置しました。千葉県では翌5年7月時点で、鎌ヶ谷村を含む57か所に設置され、鎌ヶ谷村では当時村役人を務めていた長浜善作が郵便取扱役に就任しました。

その後鎌ヶ谷郵便局では、市域全域などの郵便物の集配業務に加えて、明治18年に貯金の取り扱いを始め、32年には為替の取り扱いも開始しました。また、この頃郵便局の場所も変更され、鎌ヶ谷大新田地区の徳田家が局務を担うようになります。徳田家文書には、明治期の郵便関係史料を含む貴重な歴史資料が数多く残されており、現在再整理作業を進めています。

今回ご紹介する「為替振出帳」は、明治35年5月～36年11月の郵便為替(差出人が送金額・手数料と引き換えに郵便局で発行してもらい為替証書を受取人へ送ることで、受取人がその証書と引き換えに郵便局で現金を受け取ることができる送金方法)の取扱業務の中で作成された1冊の帳簿です。取扱月日、差出人・受取人の住所・氏名、払渡局所名、送金額などを記入し、取扱件数と金額を集計したもので、毎月数十件ほどの取り扱いがありました。

帳簿に記された差出人(利用者)のほとんどは鎌ヶ谷村内の人で、佐津間の澁谷隼太郎(澁谷総司の甥)が最も多く、35年6月～36年11月の間に11件見られます。これは当時、東京帝国大学農科大学農学実科(現東京農工大学農学



為替振出帳(明治36年29～30日部分)

部)の寄宿生だった長男の貴重と、おそらく東京府内の高等女学校に通っていたと思われる二女のように宛てて送金したものです。

また、36年1～2月にかけて、村内の初富御料地の拝借人から御料局東京事務所宛ての送金が3件見られます。初富御料地は明治22～昭和4年(1929)まで、現在の新鎌ヶ谷1～4丁目(旧初富字林跡928番地)などに所在した皇室所有地で、一部が村民や周辺町村の有志に貸し下げられ、個人や共同で借用・開墾していました。為替の金額は、1か年に1反(約10^匁)当り1円(現在の約2万円)の拝借料という当時の契約内容と一致しています。

ほかにも、36年に中沢の三橋農場からの送金が2件あります。うち1件は宮城県伊具郡丸森町の蚕種販売業社に宛てたもので、これは農場に設置された蚕桑部(養蚕・蚕種製造・製糸を扱う)の活動によるものと思われます。三橋農場は明治34年に地方名望家の三橋彌によって開設され、蚕桑部のほか農事試験部・種苗種畜禽部・図書標本部・農事講習部がありましたが、活動の詳細についてはよくわかっていません。

上記の事例はいずれも市域の歴史にかかわる事柄で、ごく限られた時期のわずかな記録にも、他の史料とのつながりの中で史実を裏付けるような発見があることに、喜びを感じます。

鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第63号 令和5年6月1日発行 編集・発行：鎌ヶ谷市郷土資料館
住所：〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-8-31 Tel：047-445-1030 Fax：047-443-4502
メール：kyodo@city.kamagaya.chiba.jp
ウェブサイト：http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/index.html